

聖アンデレ教会のみなさま

ハレルヤ。私は心を尽くして主に感謝を献げる。正しい人々の集い、会衆の中で。(詩 111)
平和。みなさまお変わりなくお過ごしのことと思います。

復活日から聖霊降臨日までの期間を「大いなる50日間」と呼んでお祝いします。復活節です。キリスト・イエスの死から命への過越し・新しい世界の幕開けの祝祭の期節を、いま私たちは過ごしています。

イエスの十字架の後、はじめは復活を理解することも受け入れることもできなかった弟子たちは、よみがえられた方と再会して神への真の信頼を見いだし、心機一転。やがて復活を大胆に証しする彼らの言葉を聴き取って、多くの人びとが信じる者の群れに加えられてゆきました。復活された方とともにある喜びに生きる者とされたのです。

その喜びは、単なる「うれしさ」「心地よさ」ではなく、別れの悲しみや孤独、さまざまな不安や恐怖、そして死に対する、勝利の確信に基づいたものです。言い換えれば、これまでも今も、そしてこれからも、キリスト・イエスとともに、どんな山も谷も過ぎ越し、歩み続けることができるのだ、ということが復活に生かされる者の喜びなのです。恵まれた状況に置かれているとしてもそうでないにしても、「時がよくても悪くても」、真の喜びには関わりがない。「私たちとともにいてくださる方」が、変わることなく常に「ある」ということが、永久不滅の信仰の喜びの要です。

「教会は仲良しクラブではない」とは言い古された言葉です。教会の交わりは、私たち個別の利益や喜びのためにあるものではありません。他者の笑顔を喜び、涙を共にする交わりです。イエスがともに歩んでくださる人びと、そしてイエスのみ業に倣うことを喜びとする人びとの群れが教会の交わりとなってゆきます。神さまの喜びを分かち合って、それを私たちは喜びとします。喜びを分かち合う喜びを私たちは知り、交わりの中に生かされてゆくのです。復活という最大の恵みもまた、(それは神さまだけのものとされず)神とその群れの中で分かち合われ、すべての人びとの生を祝福するしるしとして、祝われてゆきます。このいのちの恵みと喜びを、教会=わたしたちキリストにあるすべての人びとが、ここらからのよろこびをもって宣言する時、それが復活節「大いなる50日間」という教会最大の祝祭の期節なのです。

主はよみがえられました。永遠のいのちの輝きをしめし、世の終わりまで、私たちとともにいてくださいます。

今しばらく、困難をおぼえざる得ない状況は続くようです。私たちはともにいてくださる方に信頼し、交わりの中にある人びとをおぼえ、またこの世界に生活する人びとのため、仕える心と日々の営み、折々の祈りとを、これからも大切に保ち続けて参りましょう。感謝。

2020年4月19日

牧師 司祭フランス下条裕章

おしらせ

聖アンデレ教会では、3月8日から「公禱」・公開での礼拝は休止されています。また、毎月の逝去者記念聖餐式は、無理なく参加することができる関係者のみの礼拝として行われてきました。

しかしながら、今般の厳しい状況を考え、5月よりご家族・関係者の逝去者記念聖餐式へのご参列をお控えいただき、教役者のみでの礼拝としてお献げいたします。

逝去された方のご家族には、これまでのように案内が届けられます。みなさまには、それぞれの場所で、聖堂での司祭たちの祈りに合わせ、逝去された方々をおぼえてお祈りくださいますようお願いいたします。(牧師)

※聖アンデレ主教座聖堂のホームページ <http://www.anglicancathedral.tokyo/> に祈りの助けとなるコーナーが設けられています。ぜひご参照ください。